

休暇が取れない!有給休暇は5日取ればいい??

春闘アンケートへの協力ありがとうございました。

「2022年春闘でぜひ取り上げてほしい課題」についての設問に対し、「賃金制度の改善」と休暇取得率の改善が同率一位での高率回答でした。回答の内容を見て、病院では年々休暇に関する状況がひどくなっていると感じています。有給休暇の年5日取得が義務化されましたがこれは最低基準です。今春闘でも休暇取得の問題、人員不足について交渉していきます。

取り上げてほしい課題上位5項目
(病院職員+看護師の272人中)



何年も前に保存休暇は上限となっており、毎年有給休暇を捨てている状況

有給休暇は基本的に使えないものという風土がある。月の休日さえ翌月に繰り越している状況がある

<休暇に関するアンケートからの声>

有給休暇は5日までしかとれない

朝病棟に行ったら、今日は帰っていいよと言われて有給1日分消化されることが多い

休職や途中退職者が多いのに人員補充がなく休暇がとれない

有給休暇が自由に取れない。また退職する職員も有給をとらせないと上司から言われている

季節休暇が残っているのに他部署に応援に行くのはおかしい



労働組合説明会

日時：4月7日17時から zoom 併用
 場所：新教育研究棟3階（旧講堂）

働く人には労働組合が必要
 持続可能な労働環境をめざして UNION！
 普通に幸せに働き続けるために UNION！
 助け合いの医労連共済や働くもの立場の労働金庫
 も知ろう。こんな世知辛い時代に労働組合に加入
 して仲間を作り素敵な職業人になりませんか？



2/18、3/1 大学病院経営者要請行動

私たち慶應義塾労働組合は都内の大学病院の労働組合とともに、春闘には各大学経営者要請行動を行っています。

どの大学もコロナ第6波の影響で、想像を遥かに超えるハードな労働環境です。コロナに従事した職員に対し、東京都基準で上限までの手当の支給されている杏林大学、女子医大などの職場からは、大変な環境でも手当が高く、「評価されている」と感謝の言葉が挙がっています。日医大からは、2交代勤務となった職場の長日勤は疲労蓄積が著しく、すぐに廃止となったということです。



大学病院が高度先進医療を担っている中で、看護師の勤続年数が10年にも満たないような労働環境では、なかなか医療の質の向上ができないのではないのでしょうか。

各大学経営者は、他大学で行われている労働環境を聞き、改善すべき内容に取り組んでもらえると、働くものは希望が持てます。どこの医療現場で労働しようとも、目指すべきは大学病院の安全安心の医療の提供です。



看護師コラム



ウクライナへの攻撃やめて！！

2月24日からのロシアのプーチン政権によるウクライナ侵攻のニュースが連日報道されています。子供達が避難している建物を空爆したり、妊婦が地下壕で出産していると聞き胸が塞がれる思いです。このようなことがあってはならないと強く思います。遠い国のこととせず抗議の意思を表すこと、食料やミルクに使われるよう寄付をしましたが、ロシアの攻撃に抗議する意思を表すことが大切だと思います。

組合加入届

※組合へは専任・非専任問わず、加入できます。組合への加入をご希望の方は、下記にご記入後、切り取り、慶應義塾労働組合四谷支部まで塾内便にてご送付ください(組合紹介パンフを希望の方は、k-yotsuya@keio-union.or.jpにご連絡ください)。

フリガナ _____ 記入日：20 年 月 日 職員番号： _____ 職場名： _____
 氏名 _____ 生年月日： 年 月 日 職員・看護師 (いずれかに○を)
 メールアドレス _____